

自然と歴史

加賀と周辺の海岸には船でのみ行くことができる、加賀の潜戸を含む、無数の島々や海食洞があります。加賀の潜戸は「新潜戸」と「旧潜戸」の2つからなる海食洞です。「新潜戸」は3方の入り口を持つ高さ40m、長さ200mの大洞窟で、天気の良い時はクルーズで洞窟内を通過することができます。この洞窟は「出雲国風土記」という8世紀の書物にも登場します。その話では出雲の神の1人である佐太大神の母が佐太大神を産もうとしたとき、海食洞の中が暗すぎるので金の弓で洞窟に穴を開けたと記されています。「旧潜戸」は幅5mの洞窟で、幼くして亡くなった子どもの霊を弔う賽の河原があるという伝説があります。他にも加賀の海岸には、1500万年前の海底火山の溶岩ドームである桂島や、高さ50mの絶壁が波に浸食されてできたいくつもの海食洞が連なる多古の七つ穴などのたくさん雄大な沿岸地の見どころもあります。また加賀は日本海上で物資を運んでいた大型の木造船（北前船）の重要な港町でした。

アクティビティ

天気の良い日には、加賀の潜戸といった、神秘的な海食洞を見学するクルーズに参加することができます。クルーズは約1時間かかります。多古の七つ穴も訪れることができます。海岸沿いではシーカヤック、水泳、釣りなどを楽しめます。桂島では30分のハイキングを楽しめます。ビーチのすぐそばにあるキャンプ場があります。